

町内3カ所で開催した「町民と議会の懇談会」でいただきましたご質問やご意見・ご要望について、回答をまとめましたので、ご報告します。

令和3年度 遊佐町議会
「町民と議会の懇談会」
報 告 書

【日 時】 令和3年11月21日（日）午後1時30分～

【開催場所・参加者数】

・ 蕨岡まちづくりセンター	（A班）	13人	【P1～】
・ 西遊佐まちづくりセンター	（B班）	30人	【P5～】
・ 吹浦防災センター	（C班）	17人	【P8～】
		計 60人	

町民と議会の懇談会

【会場及び班体制】

令和3年 11月21日(日)	13:30~	蕨岡まちづくりセンター	A班
	13:30~	西遊佐まちづくりセンター	B班
	13:30~	吹浦防災センター	C班

A班 {蕨岡まちづくりセンター}		B班 {西遊佐まちづくりセンター}		C班 {吹浦防災センター}	
役割	氏名	役割	氏名	役割	氏名
班長	高橋 冠治	班長	赤塚 英一	班長	阿部 満吉
進行	高橋 冠治	進行	那須 正幸	進行	松永 裕美
報告	菅原 和幸	報告	斎藤 弥志夫	報告	阿部 満吉
記録	佐藤 光保 本間 知広	記録	齋藤 武	記録	佐藤 俊太郎

※ 土門議長・・・議長挨拶のため各班を訪問。

【テーマ】

- ・小学校統合と空き校舎
- ・洋上風力発電事業
- ・農地の維持と後継者
- ・くらしと情報のデジタル化
- ・その他

令和3年度 町民と議会の懇談会報告書

第A班

開催日時	令和3年11月21日（日）午後1時30分～3時33分
開催場所	蕨岡まちづくりセンター
主な出席者と 参加人数	蕨岡まちづくり協会 会長 齋藤 司氏 ほか 12名
議 会 側	班 長 高橋 冠治
	進 行 高橋 冠治
	報 告 菅原 和幸
	記 録 佐藤 光保 本間 知広
話し合い内容（要点筆記）	
<p>=小学校統合と空き校舎の利用=</p> <p>要望／ 閉校に関し式典には予算がついているが、それ以外にも予算をつけてもらいたい。</p> <p>蕨岡は小学校統合後の空き校舎に「まちづくりセンター」が入ることが決まっている（高瀬も同様）。施設の活用の際に改築等の費用がかかる場合、町で負担してもらえないか。</p> <p>（回答）</p> <p>空き校舎の再利用については遺跡の展示、社会福祉協議会（総合福祉センター）の移転等、色々な案が出ております。複数の空き校舎が出てくるので「一気に」というわけにはいきません。今後どのように活用をしていくかによりますが、その活用にあった補助事業等を活用していく必要があります。引き続き活用の計画をまとめて、町に要望していただきたい。</p> <p>要望／ グラウンド・体育館などの施設管理及び草刈り等の環境整備も町で行ってほしい。</p> <p>（回答）</p> <p>各地区で活用計画をより精査して作って、町へ出してもらいたい。閉校行事に関しての予算は、なんとか確保できればいいと思っています。</p> <p>質問／ 統合後、小学生の登下校に関してスクールバスの運行はどうなるのか。開校準備委員会のどの部会の所管か。</p> <p>（回答）</p> <p>統合に向けてバスの台数を増やしており、登下校に支障がないように準備しているようです。所管はPTA部会となります。</p>	

＝洋上風力発電事業＝

要望／ どのような景観になるのかわかりやすくするために、もっと色々な場所からのフォトモンタージュを作成し、地域住民から理解を得られるようにして事業を進めて欲しい。

建設だけでなく、撤去後の環境についても今の段階で話題にしてもらいたい。

質問／ 風車を何十基も建てて、どのような影響が出るかわからない。知らない人がたくさんいる。もっと住民説明会の回数を増やし、たくさん意見を聞くべきと思う。特にこれからを担う世代の意見を聞くべきと思うが、各議員の考えは。

(回答)

議会では「自然環境」「景観」「健康」に留意した事業計画に、という意見書を県に提出しています。今後は幅広く町民の意見を聞き、議会として取りまとめをしていきたいと考えています。

大きい枠の中でエネルギー問題を考えれば洋上風力発電は必要だと一定の理解はしています。小中高生には電力を含めたエネルギー問題について、より勉強をして意見を出してもらえればと思います。

発電事業が実際に稼働して「ゼロカーボン」の目標を達成する手段となるのか、30年後撤去された後の環境がどうなっているかなど疑問であり、答えを出すのが大変難しい問題です。ただ、温暖化をどう防いでいくかは解決が急がれます。

もっと意見を聞いた方がよいと思います。たくさん意見が出る中から、進むべき方向が見えてくるのではないのでしょうか。そのうえで納得できる計画なのか考えていきたいと思っています。

要望／ 洋上風力の説明会の回数を増やし、たくさん意見を聞いて事業を進めてもらいたい。

(回答)

説明会は3年前から行っていますが、当時は関心が薄かったようです。今は徐々に関心が高まっており、引き続き説明会の開催を町から県に要望してもらいたいと考えます。

質問／ 福島県沖の洋上風力発電事業は、なぜ撤退になったのか。

(回答)

海底地形の関係で浮体式での事業計画にならざるを得ず、浮体式では、まだ技術的に事業の継続が難しく撤退したのではないかと考えられます。

質問／ 議会で五島列島に洋上風力の視察に行ったはずだが、報告はしているか。

(回答)

議会だより147号に報告が載っています。現地では浮体式の実証実験事業

として行っていて、五島市では発電事業による雇用の創出を目的に取り組んでいました。

質問／ 町長がドイツを訪問しているが、これは洋上風力がらみなのか。

(回答)

ハンガリー交流 30 周年での訪問の際にドイツに立ち寄ったとのこと。詳しくは話を聞いておりません。

要望／ 洋上風力に関する新しい本を図書館に置いてもらいたい。

=農地の維持と後継者=

要望／ 米価下落に対する補助対象に「共同開発米」もぜひ加えて欲しい。

(回答)

補助対象を決める際に米価を基準にしないで、という意見がありました。その旨町に伝えどのような対策がとれるかを検討します。

要望／ 共同開発米の担い手が少なくなり、生活クラブ生協への出荷量が減少傾向である。減らないよう手立てをしてもらいたい。

=くらし・情報のデジタル化=

質問／ マイナンバーカードについては理解できるが、デジタル化については、高齢者はデジタル化にどうしてもついていけない感じがする。町民に寄り添った丁寧な説明をしていただくよう、町へ繋いでいただきたい。

(回答)

これまでの紙ベースの時代が、新型コロナ関連給付金の支給で問題になったこともあり、国がデジタル化を進めることになりました。マイナンバーカード申請について当町では、地区文化祭へ町民課の担当職員が出張し受け付けた経過もあります。

当町の住民への情報伝達手段は、ホームページが主です。しかし、自らパソコンなどで見る意思がないと情報は伝わりません。「無料通信アプリ LINE」は、スマートフォン等で登録することで一方的に送られてくる情報を得られ、災害発生時の避難場所など瞬時に確認できます。また、酒田広域消防組合では、障がい者が使用できるアプリを導入しています。デジタル化は、意見を頂きながら改良を重ねることになりますので、時間を要することを理解いただきたいと思います。

=その他 全般=

要望／ 新庁舎では通路から中に入れず、係の人を呼ぶのが大変不便である。なんとかならいか。

(回答)

個人情報保護の観点から執務スペースに入れなくなりました。ご理解頂きたいと思います。

質問／ 共同乾燥施設等のモミガラ処理について、何かいい考えはないか。

(回答)

妙案はありません。

ペレット状にして、バイオマス発電所で燃料として活用できないか話をしましたが、現実的に難しいようです。

質問／ 新庁舎の入り口階段の境目が見えづらかった。これまでも駅や防災センターなどでも不具合があったが、改修するとなると、かなりの予算を使う場面があった。もっとしっかりチェックすべきでは。

(回答)

議会としても、今後このようなことがないよう気をつけていきたいと考えます。

質問／ 副議長の不信任について何かあれば。

(回答)

申し合わせ事項では、副議長の任期は2年となっております。これまでも先例や申し合わせなどに従いながら議会活動を行ってきました。しかし、申し合わせ事項を見直す話もなく、辞職しませんでした。それに対し、出席議員全員が副議長に対する不信任決議を議会に提出したものです。

要望／ 届け出などをするとき住所が長い。なんとかしてほしい。

(回答)

法律で町は、「郡」に所属する必要があり、町村の場合は「郡」を無くすことも省略することもできないようです。

令和3年度 町民と議会の懇談会報告書

第B班

開催日時	令和3年11月21日（日）午後1時30分～3時58分
開催場所	西遊佐まちづくりセンター
参加人数	西遊佐地区まちづくりの会 会長 伊藤 新一氏 ほか 29名
議 会 側	班 長 赤塚 英一
	進 行 那須 正幸
	報 告 齋藤弥志夫
	記 録 齋藤 武
話し合い内容（要点筆記）	
<p>＝小学校統合＝</p> <p>意見／ 四大祭と小学校との関わりについて、統合後は四大祭と子どもとの関わりを中学校へ移してはどうか。</p> <p>＝小学校統合による空き校舎の利用＝</p> <p>意見／ 西遊佐小の建物の管理の所在があいまい。例えばグラウンドは誰が管理するのか。町から地域に対して「グラウンドを管理してほしい」との話も無い。たとえ空き校舎にまちづくりセンターが入っても、グラウンドの管理は誰がするのか明確にしてもらいたい。</p> <p>（回答） 我々議員、気付かない点もあり、ご指摘の件は盲点でした。議会として要望を町に伝えたいと思います。</p> <p>意見／ 空き校舎となった藤崎小に何らかの団体などが入るとしても、できるだけ費用をかけないで有効活用してもらいたい。</p> <p>（回答） まちづくりセンターの小学校校舎への移転費用は、町が出さなければなりません。まちづくりセンターが移転するかどうかは、町が今年度中に決める方向と伺っております。他地区と整合性をもって進めるべきと考えます。</p> <p>意見／ 総合福祉センターは藤崎小のような離れた所ではなく、役場に近くて、町民があちこちに移動しなくてもすむ場所に置くべきではないか。</p> <p>（回答） 吹浦地区からの要望書には総合福祉センター移転の話もあり、企画課は総合的に判断しなくてはならない、との考えのようです。具体的にはまだ何も決まっていないようです。</p>	

＝洋上風力発電事業＝

意見／ 国の方向性は出ているが、遊佐町沖の電気は誰が使うのか。地元が望んでいるのか。遊佐町は町内の再エネで町内使用分は十分賄っている。着床式がだめになったときの撤去例がない。遊佐で秋田のまねをする必要はない。適地として遊佐の文化的背景などが考慮されていない。巨大な物が建つことを地域の住民がほとんど知らない。場所によっては既存の地上風力発電と二重の影響を受ける。誰が調査に理解があるのか。県は「国が、業者が」と言うのみ。常に上から。漁業者だけではなく陸上の人も影響なく設置できるのか。
(回答)

町民の関心が高まってきましたが、県などは町民の疑問に答えきれておらず、責任の所在もあいまいに見えます。なぜ景観などを犠牲にしたうえで町内の必要量を上回る発電をする必要があるのかなど、そもそも論の合意もできていないのではないのでしょうか。

意見／ 私は賛成でも反対でもない中立派。多く発電するのは、遊佐で食べる以上の米を作ることと同じではないか。説明会の資料を広く共有すべき。
(回答)

どこを落としどころにするか、我々としても情報を町民に伝えていきたいと思えます。

意見／ 議会で洋上風力の特別委員会を是非設置してもらいたい。議会として県に質問して回答を町民に伝えてほしい。町民が置き去りで法定協議会が設置されようとしている。

意見／ 議会が「洋上風力発電は直接町が行う事業でないが…」という捉え方でよいのか。

知れば知るほど大変な事業。海底から下は、どのくらい入るのか書いていないが、最低 30 メートルだという。期間経過後の撤去は海面から上で下の物は残る。そのようなやり方で良いのか。海底に基部が残ることは乱開発にならないか。雇用が 30 年後どうなるのか、県も分からない。

特別委員会で町民にどのくらい知らされているか、調べてもらいたい。

『議会だより』一般質問の風車の挿絵は、計画の現状より過小ではないか。

(回答)

我々は決定できる立場ではないので、県・事業者に情報を開示させなければならぬと考えます。

意見／ 洋上風力発電ができて秋田の能代火力発電所は残り、酒田の共同火力は無くなるという話がある。その成り行きによっては、遊佐の立場は変わってくるのではないか。

(回答)

酒田共同火力発電所の件も含め、特別委員会で扱いたいと思えます。

意見／ 陸上風力発電設備を建てるとき、心配が先立ったが今では言う人は誰もいない。人間には「慣れ」がある。脱炭素の流れの中で遊佐だけ反対していいのか。適地適作の考えは電気にもあてはまるのではないか。固定資産税も入る。漁礁となって漁業振興にもなる。

意見／ 石炭の埋蔵量から考えると、酒田共同火力発電所は今後、石炭以外の物を燃料として使うようになるのではないかと。

意見／ 稲川で県の説明を聞いたが、どこで（誰が）事業を推進していくのか分からない。そのあたりも議会としてチェック機能を発揮してもらいたい。
町へ質問しても県や事業者に振っているのは、どういうことなのか。町のスタンスを明確にすべき。

意見／ 十里塚でビーチクリーンを始めたが、高い人工物を建てるのは住民が不安に思う。脱炭素より町の自然を守っていききたい。荒れ地に植物を植えて自然にやさしい環境を作っていききたい。

意見／ 私は「遊佐部会」のメンバーであるが、「有望な区域」に指定された意義は大きい。2050年の遊佐町を考えて先手を打つべきではないか。デメリットも含めて何とか打開策を作れないか。漁業振興や地域振興になれば良い。

＝農地の維持と後継者＝

意見／ 国の自給率を上げることが問題解決につながる。議員も頑張ってもらいたい。

＝くらし・情報のデジタル化＝

意見／ デジタル化と言っても、スマートフォンで見る町のホームページは見づらい。スマートフォン用のページを作るよう、議員からも働きかけを。

意見／ デジタル化の上で何を伝えるのかという優先順位を明確にすべき。最近『議会だより』が町の課題を的確に伝えている。それらを考えて町ホームページを作ってほしい。この前の洋上風力発電の県の説明会について、町ホームページに直接記載がなかった。

意見／ 小中学生は皆タブレットを持っている。場所によっては町広報がきちんと配られない所があるので、後期高齢者にもタブレットを配って情報を伝えてはどうか。防災無線が聞こえないのであれば聞こえるようにすべき。

(回答)

情報の伝達は回覧板などのアナログも大切だと考えます。

＝その他＝

意見／ 時田町政は2期目以降8件のハコものを建てているが98～99%台の落札率が見られる。町議会としてどのように対応するか。談合しているのが事後公表から読み取れる。役場に対する信頼が無くなるのではないかと。

(回答)

持ち帰って対応します。

意見／ 松くい虫防除に使う「マツグリーン」はネオニコチノイド系の殺虫剤。幼児にも蓄積される。佐渡のトキが復活したのはネオニコチノイド系殺虫剤を使わなくなったから。

令和3年度 町民と議会の懇談会報告書

第C班

開催日時	令和3年11月21日（日）午後1時30分～4時30分
開催場所	吹浦防災センター
主な出席者と 参加人数	吹浦まちづくり協議会 会長 佐藤 勇司 氏 高瀬まちづくり協議会 会長 佐藤 源市 氏 ほか 15名
議 会 側	班 長 阿部 満吉
	進 行 松永 裕美
	報 告 阿部 満吉
	記 録 佐藤 俊太郎
話し合い内容（要点筆記）	
<p>＝小学校統合と空き校舎利用＝</p> <p>質問／ 吹浦小学校で実施中の「放課後児童教室」。町からの確約はないが引続き実施予定である。 現在は、教師等の協力が得られるが、空き校舎になった場合、建物管理や子どもたちの急な体調不良等への対応を心配している。</p> <p>※後日回答 【教育課：児童の放課後の居場所づくり検討会を立ち上げて、運営のあり方を検討中です。】</p> <p>質問／ 統合により、給食関係等の従事者の雇用は確保されるのか。</p> <p>※後日回答 【教育課：保育調理業務との調整も図りながら、業務に見合う適正な雇用を検討していきます。】</p> <p>質問／ 統合により、バス通学となるが屋根付きの停留所の要望がある。</p> <p>※後日回答 【教育課：統合後のスクールバス運行計画を検討中であるが、バス停の事情もご理解願います。】</p> <p>質問／ 高瀬地区独自の相撲大会等行事が、統合後も実施できるか心配。 統合後、教育後援会で対応できる行事の検討を早期に実施すべきでは。</p> <p>※後日回答 【教育課：教育課程における残すべき地域行事等について、地区まちづくり協議会等と連携して整理しています。】</p> <p>要望／ 吹浦小学校は、高台にある立地条件から「避難所」「総合福祉施設」として利活用できないか。 空き校舎の、利活用タイムスケジュールを早期に作成して欲しい。</p> <p>要望／ 高瀬小学校には、まちづくりセンターで使用する事が決定している。 草刈り等、管理費の予算措置を要望する。</p>	

要望／ 民間に、営利目的での使用も出来るようにして欲しい。

※後日回答

【企画課：空き校舎の利用は使用目的により、補助金の返還や起債の償還が必要な場合があります、検討を要します。】

＝洋上風力発電事業＝

質問／ 建設に対して、住民の理解が得られてはいないのではないか。
県作成のフォトモンタージュでは、設置状態を全く想像できない。
約 270 メートルの風車は、遊楽里の 9 倍の高さであり、景観に大きな影響を与えらると思う。
町民の合意形成のためには、立ち止まって再考察が必要ではないか。

質問／ 遊佐の自然環境を評価して、移住してきた。
風車建設は、自然が破壊されると思う。
豊かな自然を残すことが、遊佐町の責務ではないのか。
町民に具体的資料を提示して、更なる周知活動をすべきでは。
将来の子どもたちのためにも、立ち止まって再考察が必要ではないか。

(回答)

ご意見ご質問を、担当課係に連絡します。
議会は、12 月議会にて特別委員会を設立し、検討予定です。

質問／ 町民、建設予定地付近居住者の風車に対する認識が薄いのではないか。
国道 7 号線の、本間ゴルフ付近交差点から火力発電所の煙突まで約 1 キロであり、その高さは約 180 メートル。風車はそれより 100 メートル程高くなる。
町民に、このような具体例を示して周知できないか。
更に、検討会・勉強会的会合を開催できないものか。
県の説明会に参加希望するも、今後の開催予定はあるのか。

質問／ 十里塚海水浴場から 1 キロ沖合に、そんな大きな風車が建設されることを知らなかった。
説明会実施の広報だけでなく、具体的な情報を掲載しての説明会参加を募るべきでは。
お年寄りから子どもまで分かるような広報はできないか。

※後日回答

【地域生活課：今後も引き続き、山形県や事業者の説明会の開催をお願いしていきます。】

質問／ 建設に対して、町民の認識が不足しているのでは。と町政座談会で発言し周知を依頼した。
議会で県に意見書提出から特別委員会設置に至った経緯は。

(回答)

議員全員協議会で、県からの説明を受け、状況把握を実施してきました。
建設反対の意見があることから、特別委員会設置を決定しました。
一層の危機感を持ち、検討を重ねたいと思います。
更に、ご意見を賜りたく、よろしくお願ひします。

=農地の維持と後継者=

質問／ 農業者以外が農地を取得維持しようとするも、煩雑な手続きが必要。
2年かけて取得し、耕作したところ耕作放棄地が甦り、喜ばれた。
柔軟に対応し、簡易に取得維持できるようにならないものか。

(回答)

移住者が農地取得は無理と思ったが、役場に相談したところ「できた」との事例がありました。個別の案件だと思いますが、担当課係に伝えます。

=くらし・情報のデジタル化=

質問／ マイナンバーカードは大いに進めるべき。
全国市町村議会一丸となりデジタル化を推し進めてもらいたい。
市町村の英知を結集し、情報の保全と活用を進めるべき。
マンパワーが不足する町においては、デジタル機器の利活用が必要と思われる。

(回答)

日本海病院では、マイナンバーカードが診察券として使われていて、町内でも手続き中の医院があります。

カード作成は、役場で出来るので是非手続きをしていただきたいと思います。

質問／ 酒田市では、カードを所有していれば専用端末機利用で各種申請ができる。
遊佐町では、カードを所有していても、申請書に記入提出が必要。

(回答)

担当課係に伝えます。

=その他=

要望／ 遊佐地区以外の道路標示線が消えているのが目立つ。
事故防止上、早急に対応して欲しい。

※後日回答

【地域生活課：区画線については、学校周辺、幹線道路と優先順位をもって整備しています。】

質問／ 議員定数、報酬、議会の活性化をどのように考えるか。

(回答)

定数の変更は、平成27年に2名減の改正をしています。

報酬は、報酬等審議会に諮り平成31年に改正しています。

今後しばらくは、改正予定はないようです。

皆様との「意見交換の場」を多く持つことも、活性化につながると考えています。

「町民と議会の懇談会」において、町民の皆様からいただいた議会や行政に対してのご質問及びご要望につきましては、今後の議会活動に反映し、明るい町づくりに努めてまいります。

問い合わせ

【遊佐町議会事務局】

電話：0234-72-5889(直通) / FAX：0234-72-3312

Eメール：gikai@town.yuza.lg.jp